

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年9月1日 (2016.9.1)

【公開番号】特開2015-98531(P2015-98531A)

【公開日】平成27年5月28日 (2015.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-035

【出願番号】特願2013-238812(P2013-238812)

【国際特許分類】

C 0 9 D 183/04 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

B 0 5 D 7/02 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 183/04

C 0 9 D 7/12

B 0 5 D 7/02

B 0 5 D 7/24 3 0 2 Y

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月13日 (2016.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 0 0 】

( I ) 中塗り塗料組成物の調製

〔調製例 1〕

容量 2 0 0 m l のポリエチレン製カップ容器に合成例 1 で合成した反応性シロキサン ( A - 1 ) 1 0 0 g を仕込み、ヘラで攪拌下にシリカ ( M U - 2 1 5 ) を 1 5 g 添加し、十分均一なペースト状になるまで混合し、中塗り塗料組成物を調製した。物性を表 2 に示す。ここで、粘度は、回転粘度計 ( B M 型、6 r p m、2 5 ) を用いて測定した値である。不揮発分は、アルミシャーレに試料を入れ、オーブンで空気雰囲気下 1 0 5 、3 時間加熱した前後の質量変化から求めた値である ( 以下、調製例 2 ~ 6 についても同様 ) 。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 0 1 】

〔調製例 2〕

容量 2 0 0 m l のポリエチレン製カップ容器に合成例 2 で合成した反応性シロキサン ( A - 2 ) 1 0 0 g を仕込み、ヘラで攪拌下にシリカ ( M U - 2 1 5 ) を 1 5 g 添加し、十分均一なペースト状になるまで混合し、中塗り用塗料組成物を調製した。物性を表 2 に示す。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 2

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0102】

〔調製例3〕

容量200mlのポリエチレン製カップ容器に合成例3で合成した反応性シロキサン（A-3）100gを仕込み、ヘラで攪拌下にシリカ（MU-215）を15g添加し、十分均一なペースト状になるまで混合し、中塗り用塗料組成物を調製した。物性を表2に示す。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0103

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0103】

〔調製例4〕

容量200mlのポリエチレン製カップ容器に合成例2で合成した反応性シロキサン（A-2）100gを仕込み、ヘラで攪拌下にシリカ（アエロジル300）を4g添加し、十分均一なペースト状になるまで混合し、中塗り塗料組成物を調製した。物性を表2に示す。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0105

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0105】

〔調製例6〕

容量200mlのポリエチレン製カップ容器に合成例1で合成した反応性シロキサン（A-1）100gを仕込み、中塗り塗料組成物を調製した。物性を表2に示す。

## 【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0111

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【0111】

【表 2】

中塗り塗料組成物		調製例1	調製例2	調製例3	調製例4	調製例5	調製例6
組成	(A)反応性 シロキサン	合成例1 (A-1)	合成例2 (A-2)	合成例3 (A-3)	合成例2 (A-2)	-  KF96-30cs	合成例1 (A-1)
	(B)シリカ	MU-215	MU-215	MU-215	アエロジル 300	MU-215	-
	(A)／(B) 混合比 (質量比)	100／15	100／15	100／15	100／4	100／15	100／0
中塗り 塗料 組成物 物性	粘度 (mPa・s)	3500	6000	100000	2000	98500	32
	不揮発分 (105℃,3h)	86%	92%	92%	92%	100%	77%